

## パソコンを習って

40 代半ば主婦 (病院パート勤務あり)

わたしがパソコン教室に通いだしたのは、上記の職を職場と家庭の事情で退職し、次に仕事に就くには半年は先だと考えたときである。

なまじっか技術職についていたので、職種変更を考えるには、なんの取柄もないし、年齢的にも厳しい。

“何か履歴書に記載出来て日常にも役立つ事はないか?” “そりゃ、パソコン習得だろう!” そんな具合である。

まったく触った事がないわけでない。

ワード・エクセルをちょい使い PTA や町内会のお便りも自己流ながらこなせるレベル(?)での入会であった。

けれど、基礎から習い始めて、宝の持ち腐れにしていた数々の機能を知り、課題がこなせたときには習得の喜びを感じた。

習得の証として検定を受ける。これが結構きつい!けれど、これは入会当初の目的である。

“堪えねば!!” そして、“子どもたちよ、母の背中を見て学べ!”

幸いか、職は古巣に返り咲いたので、履歴書を書くこともなく職にはありつけた。

しかし、今のわたしは退職前のパートのおばちゃんではなく、ちょいとパソコン使えるパートのおばちゃんにポジションが替わったのである。付加価値が付いたのだ!!

書類作りに苦戦している仲間にアドバイスするなんて、以前はできなかったよ。

役立てるって予期せぬときにおこるものだが、これも習得のおかげと感じた事である。

この頃は、小・中・高の学生も授業で基礎レベルに近いところまで学ぶ時代。

持てるスキルは高いに越した事はない。

明日の自分のために、脳みその限界と戦いながら、自分の可能性を広げたい。

Y・T より